

## ドイツとの交流① 姉妹都市

### ドイツヘルツタール

ドイツ連邦共和国中部のヘッセン州、広大な森林地帯の中にある自然豊かな美しい町です。人口は約6,000人(下野市の10分の1)、面積は約37平方キロメートル(下野市の約半分)です。

### 石橋から始まった交流

ドイツヘルツタールには、シュタインブリュッケン(日本語で石橋の意味)という地区があります。交流の始まりは、獨協大学名誉学長石橋長英博士(故人)が旧石橋町に橋渡しをしたことによります。

昭和50年4月に姉妹都市となり、合併後も交流が続き、今年で41年目になります。



ドイツ中学生の書道体験

## 中学生相互派遣事業

3年に1回実施されているこの事業では、いままでも下野市(石橋町)から7回、ドイツヘルツタールから6回、中学生が相互派遣されてきました。ホームステイをしながらの学校訪問、市内施設見学、文化体験などが、子どもたちにとって、国際感覚を養う貴重な機会となっております。また、この派遣をきっかけに、留学や国際的な職業を目指す学生もいて、世界に羽ばたく人材の育成に役立っています。

### 小学生の図画作品交換

姉妹都市を締結する前の昭和41年から引き続き行われているのが、小学生の図画作品交換です。最近では姉妹都市締結40周年を記念して、「姉妹都市の人に紹介したい下野市の風景」というテーマで作品を募集し、19点の作品がドイツヘルツタールへ寄贈されました。贈られた作品は、ドイツヘルツタールのホールに展示され、多くの方に姉妹都市交流のを知っていただけでなく良い機会となりました。



図画作品展示の様子

## ドイツとの交流②

### ミュンヘン大学生

### ミュンヘン大学生との交流

ミュンヘン市は、ドイツの南部、オーストリアやスイスの山岳地帯を望む、人口約135万人の商業都市です。ミュンヘン大学は、18学部にて約44,000人の学生が学んでいる総合大学です。

大学で日本語のクラスに所属している学生が、日本語や日本文化を学ぶため、毎年8月、下野市に2週間ホームステイをしています。23回目となる今年も、例年より多い10名の学生が下野市に滞在しました。

滞在期間中は、日本語の授業を受けたほか、茶道、弓道、浴衣着付けなどの日本文化を体験しました。

また、自治医科大学や小山工業高等専門学校との交流会も開催され、学生生活について意見を交換するなど、お互いにとって有益な時間を過ごすことができました。

来年も広報しもつけ6月号で、ミュンヘン大学生をお世話していただくホストファミリーを募集する予定です。ご興味を持たれた方はぜひご応募ください。



浴衣着付け体験



弓道体験

## 国際交流協会

### 会員募集中!

国際交流協会では、随時会員を募集しています。

ご入会いただきますと、年に3回発行される会報(各種行事の案内が記載されます)が届くほか、語学講座の受講ができるようになります(有料です)。また、国際交流員イベントなどのお安い会員料金でご参加いただけます。

外国や国際交流にご興味のある方、外国人と交流してみたい方はぜひ入会をご検討ください。

### 年会費

個人会員 1口 1,000円  
学生会員 1口 500円  
ファミリー会員 1口 2,000円

法人会員 1口 5,000円

### 問い合わせ先

国際交流協会事務局  
市民協働推進課  
☎(32) 8887

